

北陸情報通信協議会部会の設置について

1. 設置の目的

ICTを国民生活向上のための手段及びあらゆる産業のサポートインダストリーとして位置付け、農林水産業、製造業、サービス産業などと連携し、ICT利活用による競争力の強化と新産業の発掘、ICT人材の育成を促し、北陸から多様な産業のICT利活用プロジェクトを全国・世界へ発信するとともに、北陸経済の活性化に資することを目的として、**部会を設置。**

- 平成21年度見込み ブロードバンドはほぼ100%、光ファイバ網は90%をカバー。光ファイバ加入契約数は約1,780万加入
- 原ロビジョンⅡ (ICT維新ビジョン2.0) 経済・社会のあらゆる分野におけるICT徹底利活用の促進
遠隔医療、児童・高齢者見守り、防災情報提供、生涯学習支援、観光情報発信、交通・移動支援、地場産業振興、地域間交流等へのICT利活用状況を指標化した「地域のICT利活用率」を設定し、2013年までにその倍増を実現

2. 部会の構成

- 平成22年度から「農林水産」、「医療・介護」、「観光」をテーマにICT利活用を検討する部会を設置。
- ICT利活用プロジェクトの検討、ICT利活用事例の調査研究、国等の支援施策の検討などを実施。

期待される効果

- ① 各分野における課題・ICT利活用方策について、会員の理解が深まり、時代の変化に迅速に対応
- ② 新産業の発掘、成長、ICT人材育成への寄与
- ③ 国等の支援策に対する迅速な対応が可能

北陸経済の活性化

3. スケジュール

平成22年4月 北陸情報通信協議会幹事会において提案及び承認
4月～5月 部会の運営等に関する意見及び参加募集
9月上旬頃 3つの部会を設置。以後2ヶ月毎に部会を開催。

(参考) 北陸情報通信協議会の概要

1. 目的

本会は、北陸地方における産・学・官を結集して、情報通信・放送（以下「情報通信」という。）に関する調査研究及び情報交換を行い、地域の特性に応じた情報通信の普及、発展を図り、もって住民生活の向上及び北陸の経済活動の活性化に寄与することを目的とする。

2. 組織

会長

北陸経済連合会会長

顧問

金沢大学学長、富山大学学長、福井大学学長、北陸先端科学技術大学院大学学長

副会長

日本放送協会 金沢放送局長 公立穴水総合病院長

幹事会**部会****事務局**

(財)電気通信振興会（事務補助：北陸総合通信局）

3. 会員数

北陸地方の産学官 191 団体（H22.7.1現在）

4. 主な活動

- 講演会・フォーラム等の開催
- 各種調査研究
- 情報通信の普及啓発
- 情報通信月間行事の実施 など

新組織

目的

協議会は、北陸地方における産・学・官を結集して、情報通信・放送（以下「情報通信」という。）に関する調査研究及び情報交換を行い、地域の特性に応じた情報通信の普及、発展を図り、もって住民生活の向上及び北陸の経済活動の活性化に寄与することを目的とする。

会長：北陸経済連合会会長、 **副会長**：（複数）、 **顧問**（複数）

幹事会 会員から選出（複数）

部会 参加を希望する会員等から構成

事務局 (財)電気通信振興会（事務補助：北陸総合通信局）

会員 設立目的に賛同するもの

活動 目的を達成するために各種の事業を実施

北陸情報通信協議会（新体制）

会長

顧問

副会長

幹事会

農林水産部会

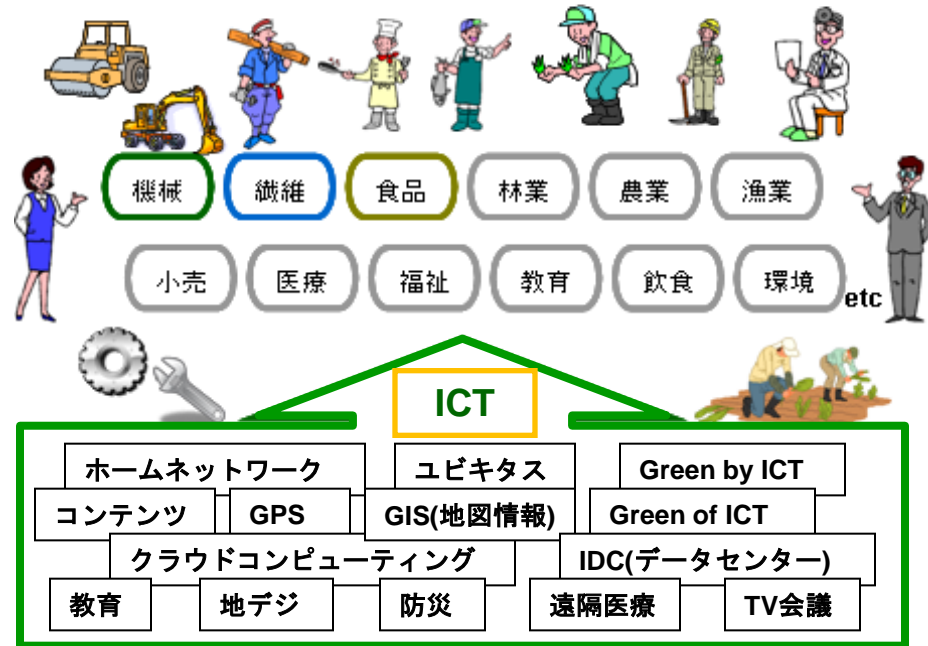
医療・介護部会

観光部会

事務局

当面は
3つの部会
で開催

情報通信・放送は、他産業のサポートインダストリー



期待される効果

- ・ ICT利活用による北陸地域の競争力強化
- ・ 新産業の発掘、成長
- ・ ICT人材育成
- ・ 補助事業への応募支援 等